

## ジュニアエコノミーカレッジの概要

### (1) プログラムの概要

子供達は、5人1会社で模擬株式会社を設立し、資本金10,000円、借入金10,000円の計20,000円を元手に実際に商売を体験する。販売終了後、商品のアイデアや売り方、利益額などを総合的に評価し、最も優秀な結果を出したチームをグランプリとして表彰する。



### (2) プログラムの流れ

カリキュラム(イベント)及び個人のワークを通して、会社の設立から解散までを行う。カリキュラムは、以下の通りである。

カリキュラム	内 容
1、ドリームセミナー (1日3時間)	株式会社とは何か、株式会社における事業計画の必要性などを学ぶ。また、ドリームセミナーで会社の設立の登記を行う。同時間帯に、保護者を対象としたサポーターセミナーを開催し、子供とのかかわり方や起業教育について説明を行う。
2、合宿(2日間12時間)	ドリームボード(会社で言う、事業計画書)を作成し、ビジネスマナー、銀行への借入申し込みのプレゼンを行い、事業を行う準備を進める。
3、会社説明会(各自1時間)	保護者を対象に各会社が事業説明会を行い、1人1,000円×10名の株主を集め、出資してもらう。
4、販売(1日6時間)	イベント会場に出展して、実際に販売を行う。
5、まとめセミナー(1日3時間)	決算報告書を作成し、利益処分(税金、役員報酬、配当金)を行う。また、保護者へのお礼の手紙と事業のまとめを行う。
6、決算発表会、表彰式 (1日3時間)	結果の評価を発表し、優秀チーム等の表彰を行う。

また、子ども達は、個別に商品の決定、サンプルの作成、仕入れ、帳簿付けなどを行っている。

### (3)プログラムの特徴

最大の特徴は、「疑似体験ではなく模擬体験である」ということです。

資本金と借入金を元手として現金を扱い、利益の中から子供たちは報酬を手に入れます。多くのバザーやフリーマーケット、職場体験などでは元手がかからない仕組みで、リスク・自己責任を学ぶ機会がない。しかし、ジュニエコでは資本として集め、仕入が発生するので自己責任を学ぶことができます。過去には、20,000円の資本及び借入金を元に、70,000円以上の売上の実績があります。

また、株式を発行し、決算報告書を作るので、会社の設立から事業の実施、解散までと会社の一連の流れを学ぶことができる。株式を投資の対象として学習することはあるが、資金調達的手段として学習することは、ジュニエコぐらいである。以下の通り一般のプログラムとの違いを表す。

内容	ジュニエコ	販売体験(バザー等も含む)
運営者	民間団体	学校
主体者	子供	保護者、学校
組織	株式会社	任意、チーム
資本・資金	株式、借入金 最大20,000円	保護者あるいは学校 無料～数千円程度
仕入	資本から行う	フリーあるいは保護者でお金がかからない
子供の報酬	利益からの報酬	特になし
納税	利益の10%を市役所等に擬似納税	なし
帳簿・決算	あり	特になし
販売商品	地場産品が入っていること(郷土理解)	特に制限なし



#### (4) 起業教育に際してのポリシー

多くの起業教育は、職場体験、講演などの模擬体験であり、職業観育成が中心となっている。しかし、起業教育は、起業家をロールモデルとして、そのコンピテンシーや考えを学ぶことが本質であると考えている。そのために起業家が起業・事業を通しの達成感、悩み、不安などを実際に体験させる。また、特徴である疑似体験も出来る限り現実に近い形を取るようになっている。例えば、模擬銀行への借入の申し込みと借入金、借入の際の利息、売上の10%を税金(実際には、自治体等に売上の10%を寄付という形を取っている。昨年は、グランプリチームが、市長に寄付を行った。)とするなどがあげられる。このことを通して、子ども達が自分たちが何をやりたいのかを考え、悩み、友達と話し合い、意見の相違により葛藤し、完売や役員報酬といった達成感・喜びを得て、自らが課題を発見・解決する能力を育成し、社会とのかかわりを勉強していく。

受講者へのフォローは、150名以上の子供達に対して、商品の企画や仕入等の直接的なフォローを行うことは難しいため、第4回から保護者をサポーターとして位置づけ、子ども達が間違った方向に行かないようにフォローしていただくようになっている。また、そのために、サポーターセミナーをあわせて開催し、ジュニアエコを通しての保護者と子どものかかわりなどを指導している。

#### (5) 社会に対する影響度について(生徒・受講者等への実施後の影響も含む)

第1回の参加者は、大学1年生になる歳である。既に社会に出て活躍している子どももいるはずである。また、受講前と受講後のアンケートでは、「仕事についてどう思いますか?」のアンケートでは、お金を稼ぐ大変さを学んだほかに、社会に役に立つためやお客様に喜んでもらうためといった商売を通してお金を稼ぐ意味を感じ取れているようである。また、決算のまとめの文書では、親の仕事の大変さを理解・感謝しているコメントが多く得られており、良質な人生観、社会観、仕事観を育成できているものと思われ、そのような子供達が次の地域を支える人物として輩出されることは、地域の民間団体が行う起業教育として影響度が高いと思われる。

